

## 「北海道ハイ・タク最賃協議会」幹事会、学習会を開催

北海道ハイ・タク運転者最低賃金協議会(略：北海道ハイ・タク最賃協議会)は、1月16日、札幌市内で2020年度第1回幹事会と学習会を開催した。

幹事会では紺野則仁議長(連合北海道副会長、北海道交運労協議長)をはじめとする2020年度の役員体制(下記参照)や連合北海道2020春季生活闘争方針について確認し、同闘争方針をふまえて魅力ある職場となるよう労働条件の改善に向けて2020春季生活闘争に取り組んでいくこととした。

また、学習会には全道各地から約80名が参加。

講演した北海道ハイヤー協会の照井幸一専務理事は、「未来につなぐ安全・安心のタクシー」と題して、2月1日からの運賃改定問題や、ライドシェア新法、白タク問題など、ハイヤー・タクシー業界をめぐる課題について背景も含めて現状について説明するとともに、「死亡事故ゼロ、事故ゼロ、安全に走るという意識を強く持ってほしい」と呼びかけた。



参加した組合員は、とりまく情勢や課題について認識を深めていた。

### －2020年度 北海道ハイ・タク最賃協議会役員構成－

議長	長	紺野	則仁(連合北海道副会長)
副議長	長	昆	弘美(北海道交運労協副議長)
	〃	齊藤	勉(連合北海道副事務局長)
	〃	鈴木	久雄(全自交北海道地連委員長)
	〃	山崎	敦(交通労連北海道総支部副委員長)
事務局長		山田	新吾(連合北海道組織労働局長)
事務局次長		徳本	博(全自交北海道地連書記長)
	〃	黒坂	肇(交通労連北海道総支部ハイタク部会事務局長)
幹事		荻野	厚(全自交北海道地連副委員長)
	〃	渡辺	均(交通労連北海道総支部ハイタク部会副部会長)
	〃	武内	秀三(小樽つばめ交通労組委員長)
	〃	藤原	裕大(平岸ハイヤー労組委員長)
	〃	土門	聖(平岸ハイヤー労組書記長)
	〃	西塚	光男(北海道交運労協事務局長)
	〃	光崎	聡(連合北海道石狩地協副事務局長)
オブザーバー		森下	和彦(運輸労連北海道地連書記長)

### ※【北海道ハイ・タク最賃協議会】

ハイ・タク運転者の最賃の創設と、ハイ・タク労働者の労働条件の向上、構成する産別・単組の相互連帯を活動の基本に、連合未加盟単組も参加し1998年8月に設立された。

同協議会は産別最賃新設を目指して地域運動や審議会対応など、様々な活動を断続して進めたものの、審議会議論の動向や2008年の最賃法改正もあり新設申請を取り下げる判断をし、以降は企業内最賃の創設や長時間労働の防止等、労働環境の改善に向けて取り組んでいる他、産別・単組の相互連帯を図っている。